

第2次総合計画施策評価シート《令和2年度分》

施策コード	基本目標	4	【産業・雇用】人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち						
4	3	3	観光の振興						
SDGs 連携分野	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する								
	 17 パートナリシップで 目標を達成しよう								
目指すべきまちの姿		弥富市の魅力が県内外に発信され、多くの人が訪れる魅力あるまちになっています。							
●主要施策と概要【PLAN】			この1年間の成果及び反省点【DO】				担当課	評価 【CHECK】	
(1) 観光協会の支援 ・観光協会に対し支援を行い、観光の振興に向け、各種活動の活性化を図ります。			観光パンフレットを増刷し、観光施設のPRを努めるとともに各イベントにおいてきんちゃんグッズを販売することで振興に努めました。				商工観光課	A	
(2) 観光資源の充実・活用 ・観光協会との連携により、春まつりや芝桜まつりを行い、海南こどもの国や野鳥園とイベント等の相互協力を進め、さらにボランティア団体との連携により観光の充実・活用を図ります。			やとみ桜まつり、芝桜まつりについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となってしまったが、海南こどもの国秋まつりを始め、市内外のイベントを通じての相互協力を進め、充実を図りました。				商工観光課	A	
(3) 広域観光体制の充実とPR活動の推進 ・近隣市町村、海部地域観光ネットワーク協議会、木曾三川下流地区広域観光連携協議会との連携により、広域観光の振興を図り、様々な広報媒体等を活用し、観光PRを推進します。			近隣市町村や海部地域観光ネットワーク協議会等の会合やイベントに積極的に参加し交流を図ることで、広域的なPRの推進に努めました。				商工観光課	A	
●施策目標に対する市民満足度			単位	現状値 (2017年度)	目指す方向性	中間値 (2022年度)			
観光の振興			%	8.6	↗				
●成果指標		単位	現状値 (2017年度)	各年度の実績値			目標値 (目指す方向性)		
				2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度
(2) 観光入込客数		千人	629	652	457			670	710
事業 No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】						
(2)	春まつり、芝桜まつり等イベント開催事業	商工観光課	アフターコロナ、ウィズコロナを意識し新しい形のイベントの実施を考える必要があります。また、令和4年度以降、観光協会事務局が商工観光課からの分離を予定しているため新たな動きに対応する必要があります。				改善		
施策の今後の方針 【ACTION】		アフターコロナ、ウィズコロナを考慮する新しい生活スタイルを意識したイベントや観光の振興を継続していく必要があります。また、観光協会の在り方については、独立を含めて今後検討する必要があります。広域観光については、様々な広報媒体等を活用し、イベント等に参画することで、「弥富市」「金魚」などのPRに努めるとともに、海部地域観光ネットワーク協議会、木曾三川下流地区広域観光連携協議会と連携し振興を図ります。							

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和2年度分》

事業No	実施計画に係る事業名	課	グループ	作成日
(2)	春まつり、芝桜まつり等イベント開催事業	商工観光課	観光統計グループ	令和3年6月30日

■総合計画の位置づけ

基本計画	基本目標	4	【産業・雇用】人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち	重点施策
	施策目標	3	観光の振興	
	主要施策	2	観光資源の充実・活用	
	主要事業		春まつり、芝桜まつり等イベント開催事業	
SDGs 連携分野	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する			
				

■事業内容【PLAN】

事業目的	観光協会との連携により、やとみ桜まつりや芝桜まつりを行い、海南こどもの国や野鳥園とイベント等の相互協力を進め、さらにボランティア団体との連携により観光の充実・活用を図り、訪問者でにぎわうまちづくりを目指します。					主な協働・ 関連団体等	弥富市観光協会
	観光協会との連携により、やとみ桜まつり、芝桜まつり、金魚日本一大会や金魚すくい大会などのイベントを実施します。						公益財団法人愛知公園協会
弥富金魚漁業協同組合							
事業概要	観光協会との連携により、やとみ桜まつり、芝桜まつり、金魚日本一大会や金魚すくい大会などのイベントを実施します。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市観光協会補助金要綱
							弥富市補助金等交付規則
事業の開始・ 終了	開始年度	2006	年度	終了年度	2028	年度	

■事業費(単位:千円)【DO】

事業内訳	2020年度(実績)		2020年度(計画)		2021年度(計画)		2022年度(計画)	
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)
	弥富市観光協会補助金	3,029	弥富市観光協会補助金	10,895	弥富市観光協会補助金	11,000	弥富市観光協会補助金	11,000
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	
	合計	3,029	合計	10,895	合計	11,000	合計	11,000
	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0

成果指標	単位	現状値	各年度の実績値					目標値(目指す方向性)	
		(2017年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2028年度	
(2) 観光入込客数	千人	629	652	457			670	710	

指標の分析 例年、60万人前後で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したため大幅に下落しました。新型コロナウイルス感染症が終息に向かうことで、観光入込客数が再び回復すると思われます。

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 住民のために効果的なものであり、求められているか 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要であるか 	まちづくりの課題認識として、まちの活力や魅力の創造・強化への対応が求められている。基本目標である、「人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち」という目標に基づき、まつりの必要性を判断しています。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 前年に比べてどのように工夫したのか コストの削減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、やとみ桜まつり、芝桜まつりは開催できませんでした。そのため、コロナ禍でも開催できるように、感染症対策を徹底することにより、海南こどもの国秋まつりなどの他のイベントを開催しました。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市・住民・団体が誰が実施するのが良いか 	市が観光協会と連携して開催することで、事業者との連携、柔軟な動きが可能となっています。
施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 	イベントを企画することは、基本目標である「人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち」の達成を図るために必要な事業であり、地域の活性化に繋がります。

■今後の進め方【ACTION】

課長意見	方向性
アフターコロナ、ウィズコロナを意識し新しい形のイベントの実施を考える必要があります。また、令和4年度以降、観光協会事務局が商工観光課からの分離を予定しているため新たな動きに対応する必要があります。	改善